

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		平成28年度第1回 豊島区商工政策審議会
事務局（担当課）		文化商工部 生活産業課
開催日時		平成28年7月25日（月） 14:00～16:00
開催場所		本庁舎5階 庁議室
議 題		1 開会 2 議題 1) 会議の公開について 2) 豊島区産業振興指針取り組み状況について 3) 28年度新規・拡充事業進捗状況について 3 その他
配布資料		資料1 豊島区産業振興指針取り組み状況一覧 資料2 28年度新規・拡充事業進捗状況一覧 関連資料1 28年度商工政策審議会委員名簿
公開の 可否	会 議	公開 傍聴人数0人
	会 議 録	公開
出席者	委 員	郭洋春、鴨田和恵、讃岐知恵子、山崎泉、青木正典、坂口登志男、倉持靖、細田新子、足立真賢、石川久美子、小倉憲夫、塚田祥世、村上桂子、齊藤雅人、小澤弘一（敬称略）
	そ の 他	生活産業課長
	事 務 局	生活産業課

審 議 経 過

生活産業課長；これより平成 28 年度第 1 回豊島区商工政策審議会を開催いたします。本日は、お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。はじめに配布資料の確認をさせていただきます。次第の下部に配布資料の一覧を載せております。不足の資料はございませんでしょうか。

次に本審議会の副会長の変更がございましたので、ご報告いたします。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社の上原秀治様が異動をされたため、後任といたしまして小池和孝様が副会長を引き継がれております。なお、本日はご都合によりご欠席をなされております。それでは、これより議題に入りますので、進行を郭会長に引き継がせていただきます。郭会長よろしく願いいたします。

会 長；本日はお忙しいところ、平成 28 年度第 1 回豊島区商工政策審議会にお集まりいただきありがとうございます。昨年度もご協力をいただきまして、様々なご意見を商工政策に反映させることができました。今年度は進捗状況の見直しをご報告していき、そして皆様方から様々なご意見をいただく中で、より一層豊島区の商工政策に反映させていきたいと考えております。あと何日かで、ブラジルではリオオリンピックが開催され、さらにその 4 年後にはいよいよ東京で、実に半世紀ぶりにオリンピックが開催されます。当然、東京で行われ、尚且つ新宿に次いで 2 番目に大きいこの池袋は、多くの海外の方に注目されると思われま。そういった中で、4 年後を見据えながら、豊島区が今以上に発展していくような施策を皆様とともに一緒に考え、成功させていきたいと考えております。本日は 2 時間という短い時間ではございますが、是非とも皆様方から貴重なご意見を賜ればと思います。どうぞよろしく願いいたします。それでは、議題に入らせていただきます。まず議題の (1) 会議の公開についてお諮りいたします。ここでの議論の内容は多くの区民の皆様知ってもらうため、会議や会議録を公開したいと思っております。豊島区では審議会等の会議について、公開を原則としており、これまでの会議及び会議録についても、公開をしておりましたが、みなさん、よろしいでしょうか。

(了 承)

なお、会議録の公開については、個人が特定されないよう事務局に配慮をお願いいたします。

続きまして、議題の (2) 産業振興指針取り組み状況について、(3) 28 年度施策進捗状況について、事務局より説明していただきます。

生活産業課長；(議題(2)議題(3))について資料 1、資料 2、カラー刷り資料に基づき説明)

会 長；ありがとうございます。ここまでで、ご意見やご質問はございますか。

委 員；商店街活性化メニュー小冊子の作成のために、7月から商店街へ取材をスタートすると仰っていましたが、どういったところを取材されているのでしょうか。

事務局；例えば、ゆるキャラを作っているところや、空き店舗活用をなさっている商店街に伺い、個々の事例を一冊にまとめていきたいと考えております。

委 員；やはり商店街ごとに体力差がございます。池袋、巣鴨、大塚あたりは大きなイベント等の企画を実施できます。しかし、小さい商店街では申請書や報告書を書くような事務的作業をなさる専門の方々がいらっしゃらないため、イベントを断念されているところが多いのが現状です。その辺のフォローを出来たらお願いできたらと思います。

会 長；他の委員の方々はいかがでしょうか。

委 員；まず一つ目が、進捗状況の中の、女性起業家支援の拡充についてですが、今月の女性の起業相談の件数をみても、まだまだ認知が不足しているように感じております。もう一つが、資料に記載のとおり5月31日に開催された「インバウンド対策～外国人観光客に対する接客応対術～」の内容についてですが、こちらのセミナーでは例えば、接客をする際に必要な、簡単な英会話レッスンなどが盛り込まれていたのでしょうか。

生活産業課長；ご質問の一点目でございますが、情報発信が足りないことを踏まえ、今後、積極的に活性化のための窓口になるように努力して参りたいと考えております。それから二つ目のご質問のインバウンド向けのセミナーでございますが、当日、英語等の言語で簡単な日常会話ができるカードを参加者全員に配布いたしました。

会 長；他の委員の方々はいかがでしょうか。補足でお聞きしたいのですが、産業振興指針の中で、平成27年度は5区合同商談会により、ニーズに合った支援の幅を広げたと記載されておりますが、こちらの5区をお教えいただけますでしょうか。

生活産業課長；練馬区、板橋区、文京区、北区、豊島区でございます。

会 長；ありがとうございます。他の委員の方々はいかがでしょうか。

委 員；平成28年度の拡充の中に、公衆浴場に関わる事業がございますが、こちらの事業の目的等が今までの審議会では出ていなかったと思うので、その点についてお考えをお聞かせいただければと思います。

生活産業課長；豊島区の浴場組合は平成20年には36箇所あったものが、現在24箇所と激減をしております。この浴場組合の支援というのは予めから政策として継続的に行ってきておりまして、あくまでも経営支援という観点からのものであります。

会 長；ありがとうございます。他の委員の方々はいかがでしょうか。

委 員；取り組みの一つでもある「商店街の担い手づくり」は、事業の継続、次世代を育成するという点で非常に重要であると私は考えております。というのも、実際商店街における経営者は、年配の方々が大半です。しかし、具体的な行動の担い手は若手世代にあります。商店街イベント事業も、若手の方々のアクションに拠るところが大きいと思われま。そういったところで今回の新規拡充事業の「商店街活性化メニュー小冊子の印刷」は、ノウハウの伝承でしたり様々な区の施策を利用促進するような大きな起爆剤になるのではと思います。

ちなみに商店街の活性化然り次世代育成の例といたしまして、大塚地域に一昨年発足した、「大塚三業通り商店街」が挙げられます。実際その担い手は若手世代であり且つ商人まつりや阿波踊り等の地域の各事業にも大きく貢献しております。その点においても、今回の小冊子では補助金制度等の紹介は勿論のこと、次世代の活躍や成長を骨太に伝えるのも良いのではないかと思います。

会 長；ありがとうございました。ではここで、委員の方々との間で意見交換を行いたいと思います。本審議の資料を踏まえ、現在の産業振興政策や今後の方向性につきまして、日頃皆様方が考えていることや疑問に感じていることをお話しただけたらと思います。

委 員；豊島区では創業に力をいれていると思いますが、一方で事業承継がうまくいかず、廃業しているところが多いのも現状です。そのため事業承継と創業をうまくマッチングできるような仕組みづくりが大切だと思われま。例えば、‘良いもの’を持っているにも関わらず後継者がいない場合に、若い女性などで創業を考えている方々に、その事業を引き継いでもらえるような施策があれば良いのではないのでしょうか。

委 員；文化と観光による産業振興という中でお話しをさせていただきたいと思いま。昨年度、知人が海外から観光に参りました際に、茶道と生け花を体験したいと仰っておりました。しかし実際は、それらを体験させてもらえる場所がなかなか見つからないといった状況でございました。

外国の方が日本文化を体験できる場所が増え、更にそれが商店街内で行われれば、観光客も増加し、商店街の活性化に繋がるのではないのでしょうか。

委 員；現在、商店街は高齢化が進んでおりまして、何かイベントをやるにも体力的に難しいところが多くなってきております。その中で、ただ商店街の利益のためだけにやるのではなくて、地域の方達と一緒に街づくりやコミュニティ形成を行っていくことが大切だと考えております。やはり、地域の小中学校であったりボーイスカウトであったり、そういった方々ともふれあえる場所として、地域行事が実施されていければ良いのではないかと思います。

委員；先程お話があったように、現在インバウンドの目的が‘物’から‘体験’へと変化しつつあるように感じております。豊島区でも外国の方々が来た際に何か楽しめるようなことを増やしていかないと、なかなか地域の活性化を図るのは難しいのではないのでしょうか。独自の施策で様々な事業を行っていくのも良いとは思いますが、その中で、標識や街路灯といったように、ある部分は統一していった方が、外国人の方々が来た際に、歩きやすくてわかりやすい街づくりにつながるように思えます。それに関連して、豊島区は現状のインフラ整備ではまだ不十分のように感じております。例えば、副都心線の開通により現在、川越や秩父方面へも行きやすくなっています。その中で観光客等を池袋で留めておくためには、やはり副都心線の東池袋駅の設置を検討していく必要があるのではないかと思います。

委員；豊島区の商工政策のメニューは非常に充実していると思います。

しかしその一方でこのような立派なメニューが揃っているにも関わらず、希望者がなかなか集まらないといった点は、今後課題となってくる部分ではないのでしょうか。また、先程お話があった新規創業や事業承継の件に付随してお話をさせていただきますが、今日新たな事業を行う上で、‘良いもの’を取り入れて自分のビジネスのプラスアルファにしたいと考えている方が大勢おり、専門家を交えながらM&Aに取り組む方々もおります。しかし、如何せん規模が大きくなると、その分手数料が大きくなってしまいます。一部では、手数料を取らないで行うといった仕組みづくりもされているみたいなのですが、豊島区でもそういった問題を抱えている方への対応をしていただけたらと思います。また、創業に対しての手厚い支援を受ける上で、創業者には一定の覚悟も必要であると私は考えております。ビジネスサポートセンター等で創業のアドバイスを行っているとは思いますが、相当な覚悟が必要であるということも教えるべきではないかと思います。

委員；私は街並みというものを、もう少し考えて欲しいと思います。豊島区は桜を活用した街づくりを推進しておりますが、実際、区内にある桜の数は少ないように感じております。また新しい道路が出来たとしても、そこに桜の木が植えられることは殆どございません。片方では桜を推して、土木や道路担当の部署では反対するというのではなく、豊島区全体として観光や環境、そして街並みにおける統一性を取っていただきたいと思います。

それともう一つ、4年後にオリンピックがございしますが、やはりバリアフリーの整備が遅れているように感じます。区の独自の方針を活用して、住みやすい豊島区にしていくことで、観光客にも便利な街並みへとつながっていくのではないのでしょうか。

委員；オリンピックまでの、今後の4年間で一番力をいれるとしたらやはりインバウンド対策ではないかと思えます。以前バックパッカーの町でもある南千住で聞いたお話によると、外国人の方々が多く泊まりにくる一方で、医療関係の問題も起きているとのことでした。例えば、外国人の方が文化の違うものを飲食なされて、体調を崩された時など、外国語に対応できない病院ではコミュニケーションが難しく、受け入れが大変であるそうです。そういった意味でも、今後、外国人の方が多く訪れる際には、それなりのセーフティネットも必要になってくると思われます。これを踏まえて豊島区でも、外国人に対応した病院の受け入れ体制への支援を行っていくと良いのではないのでしょうか。

委員；豊島区には魅力的なものが沢山あるので、そこを紹介して実際に足を運んでもらいたいと考えております。しかしそこへの道すがらは‘何もない’ところが結構見受けらように感じます。例えば、こちらの新庁舎までの道りであるグリーン大通りも綺麗で素敵だとは思いますが、特段楽しめる箇所は少ないように思います。鬼子母神に行くにも都電ではなく池袋駅からの散歩を楽しめるような街になっていくと良いのではないのでしょうか。その際には、地元の商店街を歩いてもらえるように、例えば伝統工芸品などの、その商店街の売りを前面に出して情報発信を行っていくことが大切だと思います。

委員；ご存じの通り、雑司ヶ谷では地域文化等の魅力を伝えるボランティア団体が発足しており、これは港区をはじめ多くの区で成功事例として挙げられております。商店街や起業家が地域づくりを展開していく中、文化、観光、そして生涯学習といった分野において、住民参加型の地域貢献に重点配慮をしていながら、施策を推進していただきたいと思えます。

委員；私からはビジネスサポートセンターについてお話しをさせていただきたいと思えます。ビジネスサポートセンターの女性起業家向けの講習に参加をさせていただいた時に、皆様のお話を聞いて感じたことは、年商何億を目標にされている方々は殆どいないということでした。そういった中で、何が一番必要になってくるのかということ、子育てができるスポット、つまり子育てしながら仕事ができるインキュベーションなどが挙げられると思えます。そういう意味において、女性起業家交流会とあっても、意外とスモールビジネスを考えている方々が多いので、ここは交流会ではなく、‘スモールビジネスの始め方’、‘家事プラス何かでお小遣いを稼ごう’といったような、もう少し規模の小さいところからアプローチをしていったほうが、皆様も集まるのではないのでしょうか。実際、アクセサリを作ったり、バックを作ったりと自分の出来る範囲でやれるスモールビジネスをされている女性の方が非常に多い印象を受けます。そういった方々が、大きな企業と取引をするとなるとロットが間に合わないという事態が発生するので、メッセなどへの出展を

サポートするというのも素敵ではございますが、今後の実現可能なレベルで行くと、例えば池袋マルシェでしたり、地域でやっているイベントへの出店のサポートの方が逆に喜ばれるのではないのでしょうか。地域のお祭りから大きなイベントまで、色々なものを起業家の方々に紹介して、‘売る場所’づくりをサポートする連携が取れば良いのではないかと思います。

委員；バリアフリーに関して私の目線からお話をさせていただくと、池袋駅は本当に歩きにくいと感じております。車いすが通れるような場所では、手摺がなくなっている箇所がございますし、エスカレーターは上りしかないところも多いです。それからインバウンドのお話も出ましたが、今ポケモンGOというアプリが非常に流行っております。サンシャイン近くにある日出町公園にも、この間外国人が100人以上集まっておりました。豊島区はインバウンド向けとしても、アニメや漫画が数多くあるにも関わらず、そういった最新の技術を利用したことをやっていないように思います。せっかく豊島区はアニメや漫画が有名になってきているのに、あるだけで使い切れていない部分が多々あるため、その点を重点的に取り上げていただければ良いのではないのでしょうか。また、今お話がございました女性起業家についてですが、セミナー等に集まる起業したばかりの女性は、ノウハウを知りたいというよりは、多くの人と知り合うことを目的とした方々が大半であります。せっかく良いプログラムがあるのに、参加したい人のターゲットに合っていないくて、上手く活用できていないように感じます。是非その辺を考慮し、集客のないテーマは見直してもらって、女性が今以上に来やすい会を開いていただければと思います。最後に、以前商店街の活性化について相談を受けたのですが、豊島区にはどこに、どういったメニューがあるのか詳しく分かりませんでした。そういった意味で、今回の商店街活性化メニューの冊子が出来ると非常に楽しみにしております。しかし、一方で冊子が出来るとを待っていたら、今求められているものに対応出来るのかどうかという心配もございます。また、商店街に配るといっても小さい商店街に本当に告知されるのか、つまり専門家が説明しなくても、皆が理解できる内容なのかという問題もあると思われまます。

豊島区は、良い政策がこれだけ沢山あるので、今一番足りないものは政策ではなくそれを宣伝する方法、またはそれを知ってもらう対策ではないでしょうか。

会 長；ありがとうございました。本日の審議会はそれぞれの立場から普段豊島区について考えていらっしゃることをお話ししていただきました。それらは全て共通で、豊島区をいかによくしていき、いかに住みやすく、そして賑わいのある街にしていくかという点で方向性は一致していると感じております。あとは様々なベクトルを一つにまとめあげていく作業を、是非とも区にはお願いして、引き続き検討をしてもらい、実行に移していただければと思います。

最後に事務局から本日のまとめをお願いいたします。

事務局；ただいまの皆様方から頂戴いたしましたご意見等は、事務局でとりまとめ、今後の検討に活用させていただきたいと思います。また本日この場で発言できなかったご意見等につきましては、後程事務局にご連絡くだされば、併せて参考にさせていただきます。

会 長；以上をもちまして平成 28 年度第 1 回豊島区商工政策審議会を閉会いたします。
ありがとうございました。